投稿原稿執筆要綱

和文タイトル および副題:

和文タイトルはゴシック体・14 ポイント・太字, 副題はゴシック体・11 ポイント・太字で記載する。ゴシック体フォントは, Windows10 または 11 に標準搭載されているユニバーサルデザインフォント「BIZ UDP ゴシック」を推奨する。利用できない場合には「MS P ゴシック」を用いる。

著者名:

MSP 明朝・11 ポイント・太字で記載し、姓と名の間には全角スペースを一つ入れる。著者および共著者の所属先がそれぞれ異なる場合には、各著者名の後に上付きの添え字をアラビア数字で付す。著者の情報は、編集者が投稿申込み用紙の記入内容に従って論文の第1頁の脚注に記載する。

英語タイトル

および

Times New Roman, 10pt の太字で記載する。

サブタイトル:

英語著者名: Times New Roman, 10pt で記載する。

英語抄録: 150-200 語で記述する。英語抄録の書式は本文とは異なる。当学会の Web サイトより論文執筆フォーマットをダウンロードし、その書式に従って記載する。

キーワード: 英語のキーワードを3から5つ程度記載する。

本文:

- A4 用紙, 縦の形式とします。明朝体(MS P 明朝を推奨)の 10 ポイントを用いて 2 段で作成する。1 ページあたり 36 行とする。この場合,1 段の 1 行に記載できる文字数は 22~25 字程度となる。
- 文字の色は黒色のみとする。
- 和文の句点には「,」(全角)を, 読点には「。」(全角)を用いることとし, 半角のカンマ「,」は用いない。一方, 英語の文章および英語の参考文献を記述する場合では, 半角のカンマを用い, カンマの後に半角のスペースを一つ入れる。この場合では, 全角のカンマ(読点)を用いない。
- 本文レイアウトは,上下のマージン(余白)を 25mm,また左右マージンは 20mm とし,タイトルおよび本文等のすべてをこの枠内に納める。
- 本文中に用いるアラビア数字および英語には,欧文フォント(Times New Roman)を用いる。なお,数値の単位には SI 単位系(m, kg, s, A など)を用い,統計記号(n, SD, t, F, p など)には斜体を用いる。
- 各段落は,配置を「両端揃え」,インデント設定を左右 0 字,最初の行を字下げ幅 1 字とする。
- 節のタイトルは, 1.・・・の形式にて, MS P 明朝・11 ポイント・太字とする。タイトルの段落設定は, インデント設定を左右 0 字, ぶら下げ 6.5mm とする。
- 項のタイトルは, 1.1・・・, (1)・・・, 1)・・・の形式にて, MS P 明朝・10 ポイント・太字とする。タイトルの段落設定は, インデント設定を左右 0 字, ぶら下げ 6.5mm とする。
- 図表タイトルは、「表 1 作業時間と○○の出現回数」のように、本文と同じ文字サイズ、フォントにて記載し、タイトルをセンタリング(中央揃え)する。
- 図のタイトルは図の下に、表のタイトルは表の上に記載し、論文全体を通して、図表に分けて通 し番号を付す。
- 本文は常体(~である,などで終わる文章)で記述する。

● 用字・用語は現代かなづかいとし、原則として常用漢字を用いる。ただし、当該専門分野において、もっとも一般的に用いられている用字・用語のある場合、規格・法律等で定められた用語の場合には、この限りではない。

図表の書式:

- 図表に含まれる文字を記載する場合には、判読性および可読性を考慮したうえで、モノクロームにて作成する。当学会では、カラーの図表やカラー写真の掲載は原則として受け付けていないため、カラーの写真や図表は、著者の意図にかかわらずグレースケールとなる。
- 図表はレイアウトを考慮し、最小 8 ポイント程度の大きさとし、文字が小さくなる場合にはゴシック体フォント(Arial などの欧文フォント、BIZ UDP ゴシックなどの日本語フォント)を用いる。また、折れ線グラフを色で区別する場合には、モノクロの破線や点線、実線などを用いて区別できるようにする。数値の桁や小数点の位置、書体を揃えた上で、英語、数値には欧文フォント、日本語には日本語フォントを用いるなど、可能な限り書式の一貫性を保つ。
- 図表は, 含まれる文字の大きさなど, 見やすさを考慮し, 1 段または 2 段のいずれかの大きさで作成し, 1 段の場合, 横 165mm, 縦 230mm を超えないようにする。
- 図表のレイアウトや段組について特に指定のある場合には、編集委員会へ連絡すること。

参考文献:

- 「参考文献」のタイトルは MS P 明朝・10 ポイント・太字で記載する。
- ◆ 本文の該当箇所に参考文献の番号を表す添え字を付す。例えば、「この文末の形式で上付き 文字の添え字を付します³」」。参考文献リストには、添え字の番号に該当する参考文献につい て、原稿書式の参考文献リストの形式で記載する。
- 和文の参考文献はページ番号以外を全角で、欧文の参考文献はすべて半角で記載する。ページ番号は欧文フォント(Times New Roman など)で記載する。ページの間隔を表す記号には、Ctrl キーを押しながら、テンキーのマイナス「-」を押すと入力できる半角の en ダッシュ「-」を用い、ハイフン「-」や全角記号の「-」は用いない。

参考文献の記載方法

- No) 著者名:表題,雑誌名,巻(号),頁-頁 (西暦での発行年)
- No) 著者名:書名,頁-頁,発行所,出版地 (西暦での発行年)
- No) 著者名: 題名, 編者名, 書名, 頁-頁, 発行所, 出版地(西暦での発行年)
- No) ホームページのタイトル, URL, 閲覧日(西暦:年/月/日, 0000/0/00 の形式にて)
- No) Author, F.: Article title. Journal 2(5), 99–110 (2016)
- No) Author, F., Author, S., Author, T.: Book title. 2nd edn. Publisher, Location (1999)
- No) Homepage Title, https://www.soshe.jp/aboutus.html, 2022/7/23

和文抄録:

- タイトルはゴシック体・10 ポイント・太字で記載する。
- 本文と同じ書式・フォント・文体にて1段組300字以内で記載する。